



宮司プレス 第二百八号

彦島八幡宮 宮司ニユース
発行者 彦島八幡宮
宮司 柴田 宜夫

発行 令和五年十二月二十八日

◇宮司の柴田です。 いよいよ、暮れ果ててま

いりました。 過日、畑水産社長の畑栄次さんの御支援御協力により、当宮のドローン撮影が叶いました。 心から感謝申し上げます。 裏面に写真を掲載しました。 さらに、明年一月

発行予定の社報「産土」にも、巻頭に大きく掲載する予定です。 乞うご期待くださいませ。 お待たせしました、宮司プレス第二〇八号の発行です。 今年最後の宮司プレスの発行です。 年初は、五号の遅れでしたが、

遅れの累積は、二つ減らして三号となりました。 したがって、令和五年は、十四号発行したことになります。 明年こそは、遅れの累積をゼロにする、いわゆる、キャッチアップ、毎月一回の発行に追いつきたいものです。 この一年、御愛読くださり、心から感謝申し上げます。 ありがとうございます。

◇今年から、拝殿正面の東側と西側に、干支の大絵馬を飾り始めました。 実は、玄洋中、彦島中の美術部の生徒さんに、干支を描いて奉納してもらったのです。 今年、「兎」を描いてくださいましたが、東に玄洋

中、西に彦島中の作品を備え付けました。 先日の二十四日の日曜日に、来年の干支である「龍」の大絵馬の奉納奉告祭を斎行しました。 来年は、攻守所を変えて、東に彦島中、西に玄洋中の作品を飾ります。



彦島中の作品は、優しい龍が描かれ、一方、玄洋中の作品は、猛々しい龍が描かれています。 江戸時代後期の儒学者の佐藤一斎は、「言志四録」という書物のなかに、「以春風 接人 以秋霜 肃己」という言葉を残されています。 意味は、「春風のさわやかさで人に接し、秋の霜の厳しさで自分に向き合う」、わかりやすく申し上げますと、つまり、「人にやさしく自分に厳しく」ということです。 この奉納された

絵馬をみて、感動し、この言葉が、思い浮かびました。 この優しい龍と厳しい龍が、一年間、参拝される皆様をお迎えします。

◇さて、来年は、十干十二支の六十通りの干支の組み合わせの四十一番目となる「甲辰年」であります。 十干では、一番目の「甲」、十二支は、五番目の「辰」ということです。「辰」は、動物では、「龍」が当てられています。「甲」は、木の兄で、木のお兄さんでありますので、働きが強く、力がみなぎっている、「大樹、大木」です。 甲は、もともと、よろい・かぶとの意味で、草木の種子をおおう厚い皮のことで

す。 つまり、種子が、発芽するにあたり、まだ、厚い皮におおわれている状態といえるでしょう。 また、「辰」は、振、ふるう、とどのうという二つの意味があり、草木の形が整い、力が旺盛になった状態です。 しかも、「甲」は、十干の最初、始まりであることから、何か大きな力を秘めたものが、整い、しかも力がみなぎり、新しく始まるうとしている年回りと考えられます。

経済界では、「辰巳天井、午尻下がり、未辛抱、申西騒ぐ、戌笑う、亥固まる、子は繁栄、丑つまずく、寅千里を走り、卯跳ねる」といわれています。 今年、「卯」の年で来年は、「辰」の年です。 今年と来年は、

「卯辰」の年となります。古、中国の龍門という、それはそれは険しい滝を、鯉が昇りきると龍になるといふ伝説がありました。出世するきっかけの事を「登竜門」というのは、この故事がもたっています。この十二支のなかで、唯一、実在しない動物が、御存知のとおり、来年の干支の龍であります。「龍に九似あり」、これは、この龍の姿を形容した言葉ですが、九つの動物の特徴を兼ね備えているのが龍です。角は鹿、頭は駱駝、目は兔（鬼という説もあります）、首は蛇、腹はみずち（創造上の動物）、背中の鱗は鯉、爪は鷹、掌（足の裏）は虎、耳は牛に似ているといわれています。つまり、龍は、今風に申し上げるならば、ダイバーシテイ、多様性を身にまとい、雲を呼び、雨を降らせ、大空、海の中、川の中さえも自由自在に動き回るわけです。前述のとおり、背中は、なんと、鯉の鱗でありまして、「登竜門」の伝説と符合し、整合性がとれているではありませんか。今年から来年にかけて、兎が「ホップ ステップ ジャンプ」と大きく天に舞い上がり、龍となる「昇龍」の年、大出世の年、「うだつの上がらない年」ではなく、「うだつの上がる年」、「辰巳天井」、大繁栄の年となるよう願うものです。その為にも、龍の持つ、ダイバーシテイ、多様性を見習わなければなりません。それには、奉納された絵馬に書かれた龍のように、「以春風接人以秋霜肃己」、この心意気、この心構えが大切ではないでしょうか。皆様、御家族おそろいで、良き年をお迎えになり、明るく豊かな一年でありますように、心からお祈り申し上げます。

◆十二月の祭典行事報告(予定も含む)
 ▼月次祭 *十二月一日、十五日
 ▼貴布祢神社月次祭 *十二月一日
 ▼ドローンによる撮影 *十二月二日



▼大注連縄おろし *十二月三日



▼朝粥会 *十二月二十一日

※カニ雑炊をいただきました
 ▼田の首八幡宮注連縄おろし *十二月二十四日

▼干支大絵馬奉納奉告祭 *十二月二十四日

※玄洋中、彦島中美術部製作
 ▼大祓式、除夜祭、守札清祓式 *十二月三十一日

◇十二月の宮司動静

▼神社関係団体

- 早起会参拝 *十二月一日午前六時半
- 大注連縄おろし奉仕作業 *十二月二日
- ※奉賛会、維蘇志会、敬神婦人会
- 維蘇志会例会 *十二月十六日
- 維蘇志会境内迎春準備奉仕作業 *十二月三十一日
- 彦島八幡宮リーグ三役会 *十二月四日

▼神社庁関係

- 亀山八幡宮竹中宮司結婚披露宴 *十二月九日
- 教化委員会、身分選考委員会 *十二月十八日
- 役員会、新嘗祭 *十二月十九日

▼自治会、学校関係

- 下関三井化学㈱忘年会 *十二月十二日
- 彦島製錬㈱忘年会 *十二月十五日
- 迫町自治会役員会 *十二月二十日

▼講演活動

- 西山小学校三年生 *十二月十三日
- ※「彦島八幡宮の歴史と文化」について
- 阿内八幡宮新嘗祭 *十二月十六日
- ※「氏子の誇り」について